

授業科目名	政治経済史Ⅱ	選択	開講年次	1	単位数	2
科目区分	基本科目／教科に関する科目（地歴・社会）					
サブタイトル	わが国の近代を考える	担当者	菊島 啓			
講義概要	<p>【概要】 わが国の近世から近代に至る過程を政治・経済の側面から概説する。特に、江戸時代の特徴面から江戸社会を捉える枠組みを示し、従来の「鎖国論」では理解できない事柄を指摘し、江戸社会を総括的に取り扱い、明治期への移行を解き明かす。</p> <p>【到達目標】 現代社会がどれだけ江戸の社会を基盤としているかといった、江戸期の理解とその認識に主眼を置く。その上で、近代の日本がどのように形成されてきたのかを知り、考える力を培うこと。</p>					
履修条件	政治経済史Ⅰの単位を取得した者。					
教科書・参考書	<p>【教科書】 特になし</p> <p>【参考書】山本博文監修『ビジュアル NIPPON 江戸時代』（小学館、2006年） 水本邦彦『徳川の国家デザイン』（日本の歴史10）（小学館、2008年）</p>					
授業回数	内容					
1	ガイダンス、江戸時代をどう捉えたらよいのか					
2	身分制社会が意味するもの					
3	江戸時代の特徴1：大衆文化の時代、戦争のない平和な時代					
4	江戸時代の特徴2：自給自足経済の時代、国内開発の時代					
5	江戸時代の特徴3：鎖国－世界史の中に取り込まれた時代					
6	江戸期における国際情報の収集と管理					
7	江戸期における在日外国人（宣教師その他）					
8	江戸期の海外生活者1（漂流民－ロシア）					
9	江戸期の海外生活者2（漂流民－アメリカ）					
10	江戸期の対外関係（朝鮮通信使節団）					
11	江戸期の財政と経済					
12	ペリーの来航と開国					
13	幕府倒壊の理由、戊辰戦争の光と陰					
14	近代化の過程、北海道開拓					
15	総括と補足					
評価方法	平常点（出席と受講態度）20%と定期試験80%の総合評価					
評価基準	上記授業内容について、積極的に授業に参加し、十分その内容を理解した者には「A」、また、その程度によって「B」ないし「C」を与える。授業参加および理解度が著しく低い場合は、その程度によって「D」または「E」とする。					
その他	特になし					